



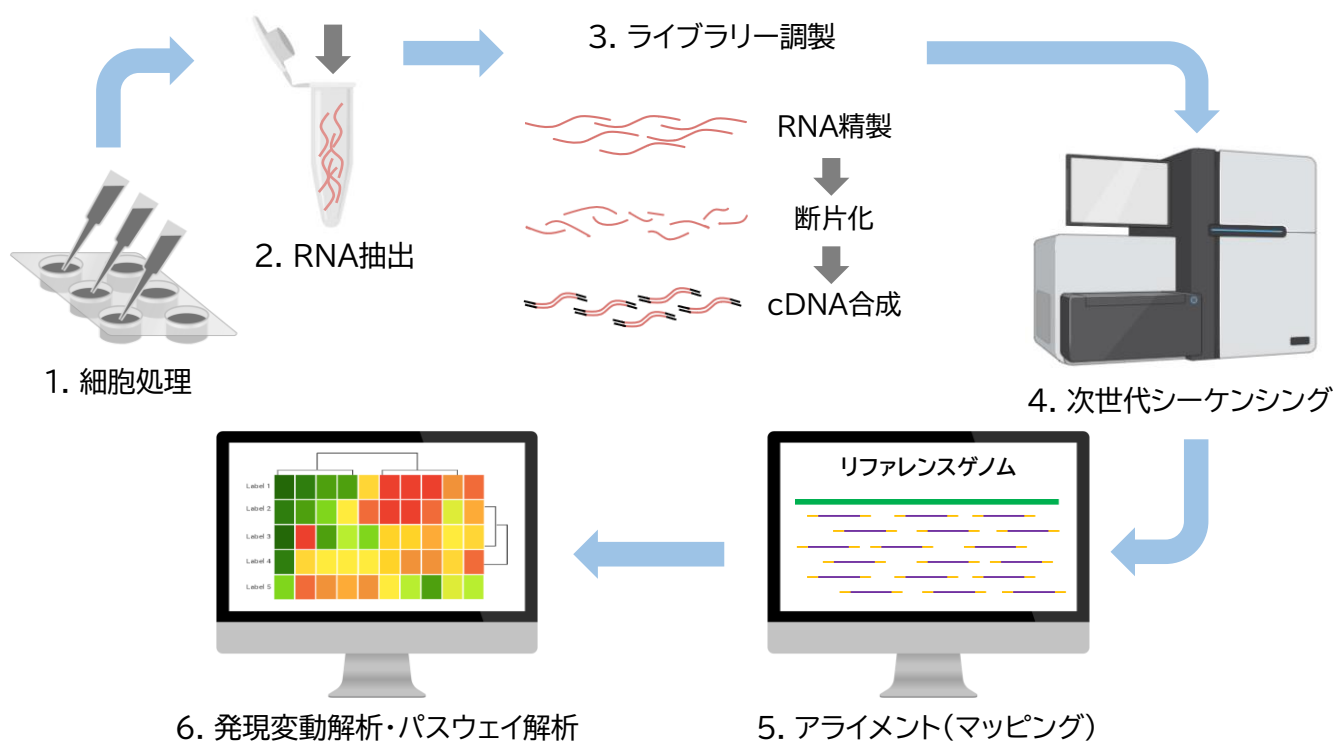
本サービスでできる解析①～トランスクリプトーム解析～

Transcript (転写物) + ome (全体) = Transcriptome (トランスクリプトーム)

トランスクリプトーム解析とは、細胞内の転写物を網羅的に収集し、遺伝子発現を測定・分析する方法です。RNA-seqやマイクロアレイなどの技術が使われています。

本サービスでは、食品成分で処理された細胞サンプルからRNAを抽出し、RNA-seqによって遺伝子発現レベルを調べます。また、発現変動解析やパスウェイ解析などのバイオインフォマティクス解析を実施し、専門家による生物学的解釈を行うことも可能です。

トランスクリプトーム解析の流れ



トランスクリプトーム解析の試験例

試験名	食品素材の新機能性を網羅的に探索する試験
目的	食品素材の影響による遺伝子の転写産物発現量の変動を調べることで、機能性の可能性を推察する。
手法	トランスクリプトーム解析
細胞	腸管由来細胞
素材	3種類 (食品素材A、B、C)
処理数	4種類 (未処理、処理A、処理B、処理C)
試行回数	1回
サンプル数	n = 4
納品物	生データ、発現レベル比較データ、報告書
参考価格	200万円

- オルトメディコでは、お客様が関心のある食品素材を特定の細胞に添加したときの変化を専門家によって解析し、その食品素材が持つ機能性を検討します。
- 素材の前処理から結果解釈まで、私たちは早稲田大学人間科学学術院健康福祉科学科 原太一先生のご協力のもと皆様の基礎研究をサポートいたします！
- 不明点等については、「株式会社オルトメディコ」までお気軽にご連絡ください。

